

組織拡大、交流会の実施、共済への加入促進などの活動計画を確認

事務局長 熊谷 悠之

JAM愛知シニアクラブは、10月28日(土)「ワークライフブラザレあろ6階ホール」にて会員及び現役地協役員60名の出席で第17回定期総会を開催した。

第1部総会は、「組織強化は人間関係の繋がりから」「人間関係の繋がりを大切に」をスローガンとし、柴崎勲幹事の挨拶で開会した。

議長に榎本弘明幹事を選出、先ず、主催者を代表して屋敷英雄会長から私たちが今後活動するにあたっての政治・経済・労働情勢の背景にふれた挨拶がされた。来賓のJAMシニアクラブ木村正次副会長に続き、JAM東海井上猛書記長、斉藤喜隆参議員、地方シニクラブ岐阜、三重の代表から祝辞を賜り総会に花を添えて頂いた。

議案審議では2018年度活動計画(案)、2018年度予算(案)、2018年度役員選出、並びに2019年に実施される参議院選挙JAM組織内候補者「田中ひさや」氏の推薦など全6議案とも全会一致で承認決定した。

具体的な活動計画は、①組織拡大は勿論のこと、②会員相互の交流を深めあえる交流会の実施、③安全・安心の担保が得られるJAM共済への加入促進、④政策実現活動の推進などの活動に取り組む。

第2部は研修会を開催し安藤雄氏(愛知県健康福祉部技師)を講師に招き、「お薬との上手な付き合い方」をテーマに、①くすりを安全につかうために、②ジェネリック医薬品、③健康食品と医薬品についての講演を受けた。

総会終了後の第3部では会員間の交流懇談会を開催し、お互いに健康でシニア組織の活動に参加することを誓い合った。



千葉シニアクラブ 64行 蝦名秀信 通信員 P1枚

田中ひさや副会長の推薦を決定

政治や自己紹介で大いに盛り上がる

9/25 希望の党結成、9/28 民進党全員が希望の党に合流の流れ、9/30 民進党全員の受入は「さらさらない、排除します」発言、

10／3 立憲民主党結成、10／10 衆議院議員選挙公示。この様な激しく凄まじい政治の動きの最中の10月13日、JAM千葉シニアクラブ定期総会が開催された。モノレール千葉みなとのそばのホテル「ポートプラザちば」で来賓含め総勢で44名の参加。この日は「長い、長い戻り秋雨」の初日で寒い天気でした。

総会は「千葉シニアクラブは地域の仲間と接点を持ち、孤立せず生き甲斐を持って、生活できるように年間とうして、活動してきた。しかしながら、年間行事の参加者は年々減少している。参加者の固定化、高齢化にあり新しい会員を増やすことが最重要」と問題提起から始まり、2019年参議院比例代表に千葉の仲間である「田中ひさや」氏擁立の特別決議で共に戦うことを決定。最後に畑山会長の「団結頑張ろう」で総会を終えた。

その後の懇親会では、参加者全員の挨拶と政治の話や自己紹介などでおおいに盛り上がった。全員の挨拶は非常に面白い。冒頭に掲げた政治の激しい動きから政治とは、政党とは、組織とはなにか、多くの示唆をあたえてくれた。分断排除ではなく団結が重要との「答え」を得た。

最後に来賓のJAMシニアクラブ大山会長、東京シニア長岡会長、JAM東京千葉有田副委員長、千葉県退職者連合石田会長、中央労金千葉支店田野涉外次長、中央労済千葉県本部鬼沢支所長からの激励の挨拶ありがとうございました。



付録

○11月号には掲載しない

B-2 田中ひさやの紹介 P付き (大山さんとのツーショット写真) 横打囲み記事

JAM参議院比例区組織内候補予定者

田中久弥 (大きく字の級数をあげる)

JAMは2019年参議院比例区に組織内予定候補として

「田中ひさや」副会長を擁立することを決定した。
これを受けてJAMシニアクラブは第9回定期総会で
「田中ひさや」副会長の推薦を決定した。現役と共に
必勝に向けて支援していきましょう。